

常任委員会報告

総務財務委員会

6月定例会付託議案審査

議第80号「三原市税条例の一部改正について」

【概要】個人市民税の非課税措置の要件に、ひとり親を追加するもの、新型コロナウイルス感染症の影響により中止等になった行事のうち、法律で指定する行事の入場料等について払い戻しを請求しなかった場合に個人市民税の寄附金税額控除の適用を可能とするもの、軽量な葉巻タバコの課税標準額の算定方法を見直すもの。

【主な質疑の内容】

【問】固定資産税の軽減を受けることができる設備投資をするため、これまでに、先端設備等導入計画の認定を受けた中小企業者数を問う。

【答】本市が平成30年6月に導入促進基本計画を策

定してから令和2年3月30日までの間で、当該認定を行った中小企業者等は30者ある。

【問】中止や延期になったイベントの入場料等の払い戻しを受けなかった場合に、個人市民税の寄附金税額控除として適用を可能とすることについて、どのようなイベントが控除の対象になるのか。また、控除を受けるために必要となる具体的な手続きについて。

【答】文部科学省が一括して指定することとなり、6月5日時点では、全国で521件、県内では13件のイベントが指定されている。また、控除の適用を受けるには、入場券等の払い戻しを受けなかったことについて、イベントの主催者が発行する証明書をもって、税の申告をすることが必要となる。

議第83号「財産の取得について」

【概要】西部分署大和出張所に配備している消防ポンプ自動車を取得することについて。

【主な質疑の内容】

【問】消防ポンプ自動車の納期が令和3年3月26日であり、納入までに相当の時間を要する理由は。

【答】当初の納期は3年2月を考えていたが、車両に各種装備を取り付ける装メーカが、新型コロナウイルス感染症の対応として、人員を減らして作業していることを考慮し、消防業務に支障が生じない範囲で納期に余裕をもたせたため。

【問】圧縮空気消火装置が装備される本件の消防ポンプ自動車について、放水時間など、どの程度の消火性能を有しているのか。

【答】本件のポンプ車は、600リットルの水を積載できることから、初動

においては水利を必要とせず、積載した水と消火薬剤を混ぜ合わせ、7分半から8分間の放水が可能であり、初期対応を迅速に行うことができる性能を有している。

【採決】

採決の結果、議第80号他4件について、全員一致、提案理由を了とし、原案どおり可決した。

厚生文教委員会

6月定例会付託議案審査

議第86号「三原市介護保険条例の一部改正について」

【概要】介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令の一部を改正する政令の施行に伴い、公費を投入して低所得者の保険料

の軽減を強化するとともに、保険料の減免申請書の提出期限の特例に関する規定を整備するため、条例を一部改正するもの。

【主な質疑の内容】

【問】消費税の増税に伴う、低所得者に対する介護保険料の軽減措置の継続について、今後3年間の国の意向はどうか。

【答】国は、現時点において、来年度以降の軽減措置の継続について意向を示していないが、消費税の引き上げによる税収を財源として、介護保険料の軽減が強化されたことを踏まえると、来年度以降も継続されるものと考えている。

議第87号「世羅三原斎場組合規約の変更について」

【概要】新斎場の供用開始に伴い、世羅三原斎場組合の火葬場の利用を終了することにより、同組合の解散に係る手続きを規定するため、規約を変更することについて議会の議決を求めるもの。

【主な質疑の内容】

【問】世羅三原斎場組合規約を変更した後は、同組合の解散に向けて、どのようなスケジュールで進めていくのか。

【答】組合は、令和3年3月31日を以て解散する予定である。解散までに必要な手続きとしては、広島県に同組合の規約変更の許可申請を行い、許可を得た後に、世羅町と協議のうえ、解散や財産処分等に係る議案を9月の市議会定例会に上程する予定である。議決されたあかつきには、県に対して解散の届出を行い、解散となる。

【採決】

議第85号他3件について、全員一致、提案理由を了とし、原案どおり可決した。

6月定例会付託議案審査

6月定例会付託議案審査
議第91号「市道路線の認定について」

【概要】糸崎177号線を市道認定するもの。

【主な質疑の内容】

問 今回認定する糸崎177号線及び周辺道路の幅員が1m未満の箇所について拡幅する計画はあるか。

答 地元住民から市道改良の要望等はなく、拡幅の計画はないが、消防活動の際に緊急車両が入りにくい状況もあることなどから、関係機関と連携し、緊急時の対応策を検討したい。

議第94号「三原市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について」

【概要】厚生労働大臣に届出を行った浄水方法の変更を併せて、計画給水量及び計画給水量を近年の地域等の動向を考慮した数値に変更し、届出を行ったことから、水道

事業の設置等に関する条例について所用の整理を行うもの。

【主な質疑の内容】

問 今回厚生労働大臣に変更の届出を行った浄水方法はどのような内容か。

答 平成30年7月豪雨災害以降、濁度が上がったため、水道水の浄化方法を変更するもので、本郷地域の一部を給水区域としている片山浄水場においては、井戸水を汲み上げて行う滅菌処理から、以前あった急速ろ過の設備を復活させ浄水する方法に、大和町和木地域を給水区域としている和木浄水場においては、井戸水を汲み上げて行う滅菌処理から、膜ろ過の設備を新たに設置し浄化する方法にそれぞれ変更した。

【採決】

採決の結果、議第89号他6件について、全員一致、提案理由を了とし、原案どおり可決した。

三原市議会の情報を発信しています

三原市議会のホームページには、録画による本会議の審議状況の視聴と、本会議の会議録や委員会の記録の閲覧がいつでもできます。

三原市議会のホームページは、「三原市議会」で検索いただければ検索結果に表示されます。



○会議録検索システム
「ことば・関連語・発言者・カテゴリ・語句」などの検索機能を備えているので、容易に検索が可能です。

○本会議インターネット録画映像配信
「本会議・議員名・会派名」ごとに、見たい場面を簡単に探し出せる検索機能を備えているので、効率よく視聴することが可能です。

三原市議会トップページ